

日本中央アジア学会2014年度年次大会プログラム

■概要

日程：2015年3月27日（金）～3月29日（日）

場所：藤沢市片瀬海岸 1-7-23

会場・宿舎：KKR 江の島ニュー向洋

■プログラム

3月27日（金）

KKR 江の島ニュー向洋に集合

登録・レセプション

3月28日（土）

【午前の部】

熊倉潤（東京大学）

「政治エリートの形成過程に関する中ソ比較研究」

Asel Subagojoeva（スバゴジョエワ・アセリ）（宇都宮大学）

「日本語とキルギス語の補助動詞の対照研究

——「～ておく」と（v-koy）について——」

小野瑞絵（北海道大学）

「北コーカサス内でのイスラーム主義の急進化と拡大
——青年ジャマーアトが果たした役割——」

【午後の部】

川本正知（奈良学園大学）、中西竜也（京都大学）、黒岩高（武蔵大学）（共同発表）

「スーフィズムの「中国的」諸相
——ムジャッディディーヤ科研中国北西部地域調査報告——」

- (1) 「ムジャッディディーヤ科研における中国北西部地域調査の位置づけ」(川本)
- (2) 「中国のスーフィズムとスーフィー教団——歴史的概説——」(黒岩)
- (3) 「スーフィズムの「中国的」諸相——諸教団の実態——」(中西、川本)

艾乃吐拉・古力加娜提（グリジャナティ・アナトラ）（新疆師範大学）

「ウイグル族の伝統的な手工芸文化の伝承について」

日本中央アジア学会総会

3月30日（日）

【公開パネル・セッション】

パネル・タイトル：変容する境域とモビリティ：中央アジア乾燥地の人・モノ・社会

司会：宇山智彦（北海道大学）

主旨説明：地田徹朗（北海道大学）

地田徹朗（北海道大学）

「アラル海災害からの「復興」と小アラル海漁業」

中村知子（茨城キリスト教大学）

「国境域における地域変容——イリ盆地を例に——」

古澤文（千葉大学）

「新疆ウイグル自治区における施設栽培による農産物輸出の現状」

渡邊三津子（奈良女子大学）

「青果物流通の変化にともなうカザフスタン地域農業の変容」

※ NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点の共催

※発表者の所属はいずれも発表時のものです。